

公益社団法人日本補綴歯科学会 診療ガイドライン委員会
パブリックコメントのお願い

－咬合違和感症候群 (Occlusal discomfort syndrome : ODS)
の診断と治療法に関する臨床指針 2025－

令和7年7月4日
公益社団法人日本補綴歯科学会
理事長 大久保力廣
診療ガイドライン委員会
前委員長 松香芳三
委員長 澤瀬 隆

公益社団法人日本補綴歯科学会
会員各位

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

咬合違和感症候群 (Occlusal discomfort syndrome : ODS) は、2013年に日本補綴歯科学会が提唱してから10年が経過しました。今回、医療の基本に立ち戻り、行動するために、咬合違和感を有する患者の診断と治療の指針を提示することが急務であると考えて「咬合違和感症候群の診断と治療法に関する臨床指針2025」を作成しました。

本臨床指針の主目的は、一般歯科臨床医が内容を十分に理解して咬合違和感患者の治療に当たることによって医原性の病態を惹起させないことであり、患者の健康の維持・増進に繋げることです。また、高度な補綴歯科治療を遂行する補綴歯科専門医にとっても、具備すべき内容となっています。なお、この領域の研究は、いまだにエビデンスが不足しているため、現時点で重要な論文を渉猟し、関連領域の専門家が議論を尽くした指針となっています。

公開に先立ち、会員の皆様からのパブリックコメントを募集いたしますので、どうか忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願い致します。

ご意見は、7月31日までに事務局 (hotetsu-gakkai01@hotmail.com) 宛にお問い合わせください。

謹白